

『Mind Charging』

第3回 発行：入試広報室 発行日：令和2年4月16日

ネルソン・マンデラの名言



**The greatest glory in living lies not in never falling,
but in rising every time we fall.**

生きるうえで最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではない。
転ぶたびに起き上がり続けることにある。

これまで多くの成功経験があると思いますが、反対に失敗したことも多くあると思います。その失敗を物理的に解消・取り返すことができた場合も、他の成功体験によって心が浄化されたこともあると思います。まだ心に傷として残っている場合も・・・。

どれだけ成長しても、必ず目の前には問題が立ちほだかり、上手にクリアできることもできない事もあると思います。その問題に『多分これは無理だろうな・・・』と思って向き合うのではなく、『これが成功したら最高だ！』と思って向き合うことが大切で、もしも上手にクリアできなくても『今度は違うやり方で』と、何度もチャレンジしていくことが大切ではないかと考えます。

今、私たちが向き合っている一番身近な問題はウイルスです。目に見えない相手とどうやって向き合うのか、そもそも最初の対策が失敗していたなど、ネガティブに批判的に考えがちですが、これ以上拡大させないためにどうしていくのか。誰かが何とかしてくれるのを待つよりも自分に何ができるのか。私たちには起き上がり続ける力があると信じています。

目に見えない相手に対して『気持ち』という形のないもので立ち向かうことができるのは私たち人間の特権かもしれません。

(編集委員：入試広報室 鈴木)

ネルソン・ホリシャシャ・マンデラ(1918年7月18日 - 2013年12月5日)は、南アフリカ共和国の政治家、弁護士である。南アフリカ共産党中央委員、アフリカ民族会議議長(第11代)、下院議員(1期)、大統領(第8代)を歴任。若くして反アパルトヘイト運動に身を投じ、1964年に国家反逆罪で終身刑の判決を受ける。27年間に及ぶ獄中生活の後、1990年に釈放される。翌1991年にアフリカ民族会議(ANC)の議長に就任。デクラークと共にアパルトヘイト撤廃に尽力し、1993年にノーベル平和賞を受賞。1994年、南アフリカ初の全人種が参加した普通選挙を経て大統領に就任。民族和解・協調政策を進め、経済政策として復興開発計画(RDP)を実施した。1999年に行われた総選挙を機に政治家を引退した。(Wikipedia 参照)